

平成 29 年 12 月 18 日 名古屋市長河村たかし 定例記者会見

<https://www.youtube.com/watch?v=M1ItLSRTJD4>

3:30-15 : 55

記者

名古屋城のエレベーターの問題の件で、先日掛川城に取材に行ったのですが、当時木造復元された元市長の方が、エレベーターを設置しないのであれば、障がい者等に配慮したサービスを考えるべきだとおっしゃっていたのですが、市長として今エレベーターを設置しない代わりに例えば障がい者の方や子どもの方とかどういったサービスをすべきか考えているか

市長 あまり勝手なことをいうとまた怒られるかもわからんけど、

例えば日にちを決めてですね

障害ある方とみなさんは車椅子だけではないですから。

目の不自由な方、耳の不自由な方、まあいろいろいらっしゃいますので

よおけ都市の中に人がおって、テイクケアする人が

例えば日を決めてただで入ってもらいましょうね、ええのではないかと思いますけど。

議論含めて 例えば。

それからなんと言っても、こないだ車椅子のトップメーカーに伺いましたら、

車椅子にとって一番のまあ困難なことはやっぱ段差ということなんで 歴史的にそうなんですわ。

ということで、地下鉄の階段を上がれるようにするというのが非常に大きな課題だ言ってみえた。

地下鉄になんかあったときにやっぱエレベーターも混んでいて上がれなくなる

そのまま階段を上がっていくように工夫するのは大きな課題なんですわ。

だで今度の名古屋城の話しをきっかけにしてですね

僕は相当の技術が開発されると私は信じているけれども、

現にありますけどね ドイツ製だとかいろいろ車椅子をそのままずっと

上に運んでいくようなものはありますけど

まあ名古屋城の 55 度 19 センチですかにフィットできるかどうかという問題はあるんだけれど

それは挑戦しましょうという学者もおみえになりますし、

車椅子について言えば名古屋城の今回の話しがですねちょっと大きなきっかけになって、

今言った地下鉄の階段を上がれたり そういうものが発明されていくと

大変いいことになるのではないか。 またそうしよみやあというふうについて見えまし

て

私はできると信じている。

そのプロの方もまだ4・5年ありますし、完全に使われるまで。

1・2年、2・3年でほしいプロトタイプといいますか、まあ試作品ができるのではないかと
ということは言うておられます。

ということでございます。

また、日を決めてただで上がってもらうのは今の今僕が言ったことでございますので、
あの、役所が否定するかもしれませんが。はい。

そのくらいのことはええのではないかと思いますし、期間のことばかり言いますけど
昔言って馬鹿にした人がおりました、

やっぱり例えば昔の剛力みたいに みんなで手で支えてですね

命綱をちゃんとつけて上がっていくと人力で

やっぱりコミュニケーションできるのではないかと

名市大の学生さんがよおけおるところ

「私はこういう人間で」「ああ、そうですか。どおやってお見えになったのですか？」

外人でも英語でしゃべればいいじゃないですか。

なかずっといって案内できるしね。

やっぱしねんというか機械でやるのが当たり前ですが

人力による丁寧なテイクケアの仕方というのは

それは温かいと思いますよ。私は実際は。

その方がもし火災 いろいろ考えているらしいけど、

煙なんかが充満した場合大変だということ 専門の人がいうのですが、

そういうときにやっぱね人間の力は大きいですよやっぱり ようけおって

目の不自由な方ね、そりゃ人間がたくさんおって ずっとそれぞれ案内していく

どんだけ温かいかわからんですよじつは

というように僕は思っておりますけど。

まあ不自由な方ばっかではなくても、年食った

私らでもあぶにゃあですけどね このままやっとりますともはや69だで

これ上がれんようになるかも実際はそれは人力で

それと小さい子どもさんとかありますので、

僕らはこれを機会に

人間同士のコミュニケーションによったり 最新鋭の技術を使ったり

考えていかないかなと思っております。

必ずええのが出来ますよ。

あまり言うと感じ悪いですけど

月まで行って月は歩くんでしょ今ロボットみたいなので また帰ってくるでしょこれ。
今の時代は ねえ

NHK これから1時10分から石垣部会の人が記者会見をするのだが、
先月の市の考え方に対する対応を述べられるですけど
事前にどういった対応を発表されるか聞かれているか

市長 中身はあまり聞いておりません。私ええ
僕が言いたいことは呼ばれば行くけど
名古屋市の皆さんの天守閣復元に対する期待はどくらい大きいと、いうことで
僕は特に選挙の結果でもありますしね 選挙
あのときに出口調査ないし 65%位ではなかったですか？
木造復元支持されとるとのことなので、
まあ僕が言うのであれば、ぜひそういう視点でなるべく早うできるよう願いますわ
当然石垣は石垣で大事にしないとイケないけどね
といいますけどね そういうことがあるとしか聞いておりません

記者 合同部会での意見の対立によってですね
石垣専門家からアドバイスを受けられなくなって調査が中断したのですが、
再開の見通し どういう風に今後進めていくか 市長の考えは

市長 まあよ話し合いをすれば解決すると思いますけど私
まあ状況を聞いておりますといろいろね。えー

記者 理解を得られない場合、別の、石垣部会とは別の専門家に依頼して進めていくと
いうことは

市長 それはどうなっていくかようなんとも言えないけど
議会で答えたですわねこれ 答弁で
なんかいなくなったときにはそうせざるをいけないと聞いていますけど
とにかく名古屋市民の圧倒的な世論をですわねやっぱり考えて頂きたい
そりゃそうなるでしょうそりゃ、えー、と思いますけど
学者の方も文化庁も ほうでしょう
と思いますよ 話しの道筋はつくと思いますよ

記者 エレベーターなんですけど、 検討会ってどうなっているか

市長 あの一、年内にやるように指示していますけども

記者 どういうメンバーなのか？

市長 あの一、役所、国の方、経産局、学者のかた、実際車椅子を作っているメーカーとか、ほれから福祉の関係の皆さんとか まあそういうこと

記者 外部の人も入れてですか

市長 まあそう

記者 あとその

市長 福祉の方だけばっかでなしに、年食った人、若い人 あります

記者 高齢者団体とか話し合い、ヒアリングは諸団体はいつ頃からか

市長 いや、この間したのではないか？福祉の皆さんにたしかヒアリング。

ヒアリングも大事ですけど、そういうところに出てきてもらって、僕は今言ったようなオールオアナッシングの考え方でなくて、やっぱり新技術によってねえ、汎用性のある車椅子の昇降機が今でもあるんですけど いろいろ まだ不便があると若干聞いているので、まああの一、解決されていくと。

特にこの辺はそういうものの輸送の世界のトップ地域じゃないですか
これ、ええ

記者 今話を伺っていて、エレベーターではダメなんですか？

市長 エレベーターでも ホームエレベーターというのなら無いわけじゃなかったんですよ。
ホームエレベーター 人だと2-3人詰めてのれば。車椅子だと1台しか乗れないとほとんど。

ホームエレベーターは実は大変危険ですからねこれ
それと上り下りありますんで、
ものすごい非常に何人でどうかという話になると大変ですよ。これは。ええ

今のところ聞いているところによれば、今デパートのような
10 乗りか 20 人乗りかわかりませんが、
ああいうものは、という人はあまりおらないですけどね それは

中京テレビ その話しで行くと、先週の月曜日そのお話し合いがあったということですが、
ど、

その中で団体側からはバリアフリー法の観点から 11 人乗りの
エレベーターが欲しいがでたという話しを障がい者側から聞いてるんですが、
そういった観点からは

市長 皆さんで話し合ってみるだわ

やっぱりそうでにやあという人も多いですからね

申し訳ないけど

バリアフリーの観点からいってもあの一、なかなか、これなかなかですからね

そりゃそれで

車椅子の昇降機を發明していくというのが、僕はこれによつての

地下鉄の地下街もつながっていくし、

この方が大変いいんじゃないかと僕は思っていく

横に大きいのを作ってくという人もいるが、いろんな意見がある

そりゃいろんな意見がある